

# 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」 懇談会(第2回)説明資料

平成20年3月13日

事務局作成資料

事務局:国土交通省 近畿地方整備局

豊岡河川国道事務所

# 1. 第1回懇談会での意見について

# **(1) 第1回懇談会での意見**

## 意見に対する対応

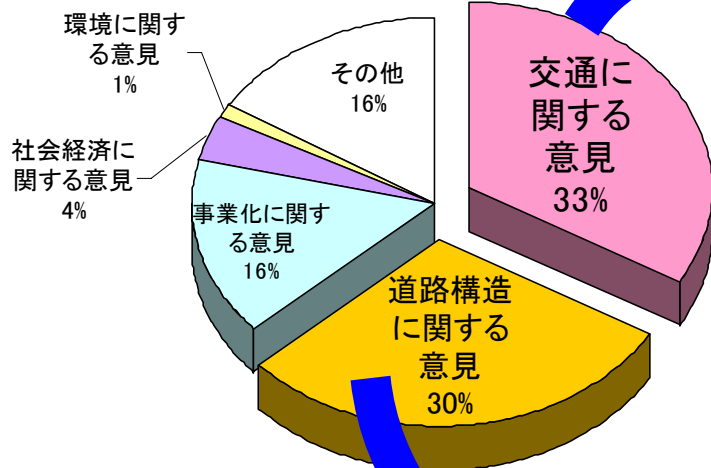
第1回懇談会での意見	対応
既存道路改良と 豊岡道路整備の整理	豊岡地域の交通課題と 豊岡道路の必要性
地域の活性化とコウノトリ	コウノトリと共生する 道路整備の考え方
福田・栃江の水田は コウノトリのえさ場	
豊岡道路のコントロール ポイントと配慮事項	豊岡道路のコントロール ポイントと道路検討範囲
※豊岡道路の広域ネットワークでの機能役割確保のため、将来、鳥取豊岡宮津 自動車道が計画された場合にJCT接続可能な案とする。	

## **(2) 豊岡地域の交通課題と 豊岡道路の必要性**

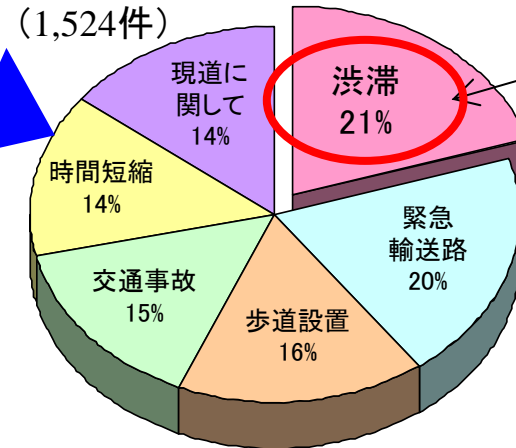
# 但馬の道路に関する市民の意見

・豊岡市内の渋滞が激しいことや、道路が狭いことに対して特に市民の意見が強い

## ◆但馬地域の道路について日頃感じていること



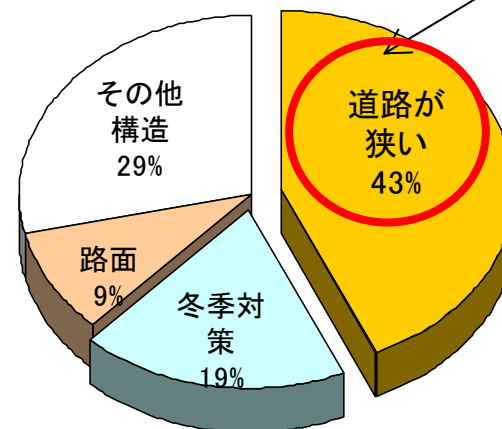
## ○交通に関する意見の内訳 (1,524件)



### 【主な意見】

- ・海水浴シーズンや、かにシーズンは、交通渋滞がひどい。
- ・豊岡市街に入る道路の混雑をなんとかしてほしい。

## ○道路構造に関する意見の内訳 (1,372件)



### 【主な意見】

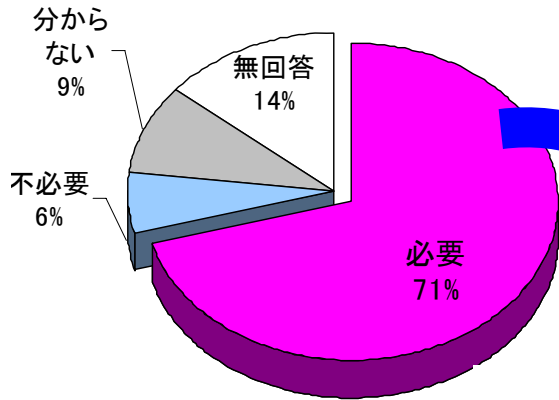
- ・道路幅が狭いため、右折や左折等、事故をしないように気をつけている。
- ・主要道路にもかかわらず、道幅の狭い道路や部分的に狭いところがあって危険。

出典：豊岡道路アンケート

# 豊岡道路の整備の必要性

・地域の活性化や道路網の接続・連絡、時間短縮のため、「豊岡道路」の整備に**7割の方が必要性**を感じている。

## ◆「豊岡道路」整備の必要性



【主な意見】  
・23号台風の時に、各所に交通止があったので、幹線道路はしっかりしたものがあれば良い。

### 【主な意見】

・京阪神が近くなると若い人は、豊岡も悪くないと思えるようになる(永住)。  
・地域の活性化のため、交通の便は生活、住居、文化活動につながる根幹である。

### 【主な意見】

・連絡がスムーズにいくために整備が必要。  
・阪神間それぞれの生活圏を結ぶ幹線道路として重要。  
・豊岡市街地や観光の主力である城崎温泉へのアクセスを大切にすべき。

### 【主な意見】

・阪神間へ短時間で行くことは何をおいても必要。  
・関西方面への移動時間の短縮。

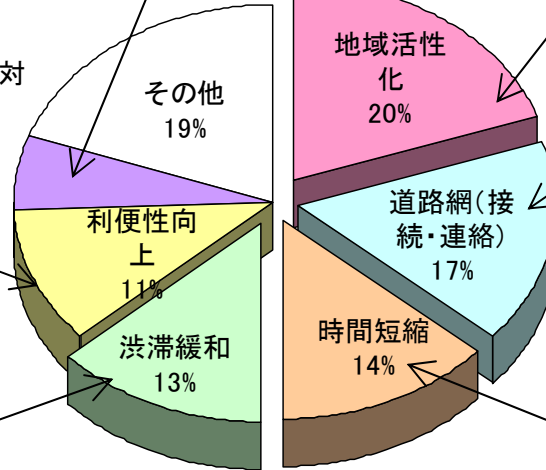
### 【主な意見】

・利便性が悪いと都会と田舎の格差が生まれ、病院の医師不足などによる悪循環を招く。

### 【主な意見】

・旧豊岡市内の渋滞を避けるため(必要)。  
・市内が渋滞すると逃げ道が欲しい。

災害時対応 6%

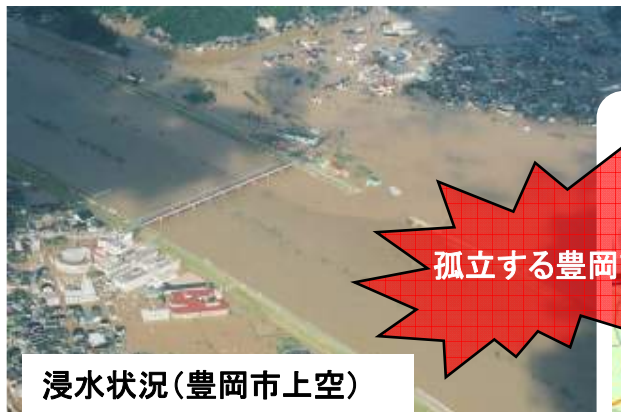


◆豊岡道路が「必要」と思う理由 (自由回答)

# 豊岡市内の交通課題と豊岡道路の必要性

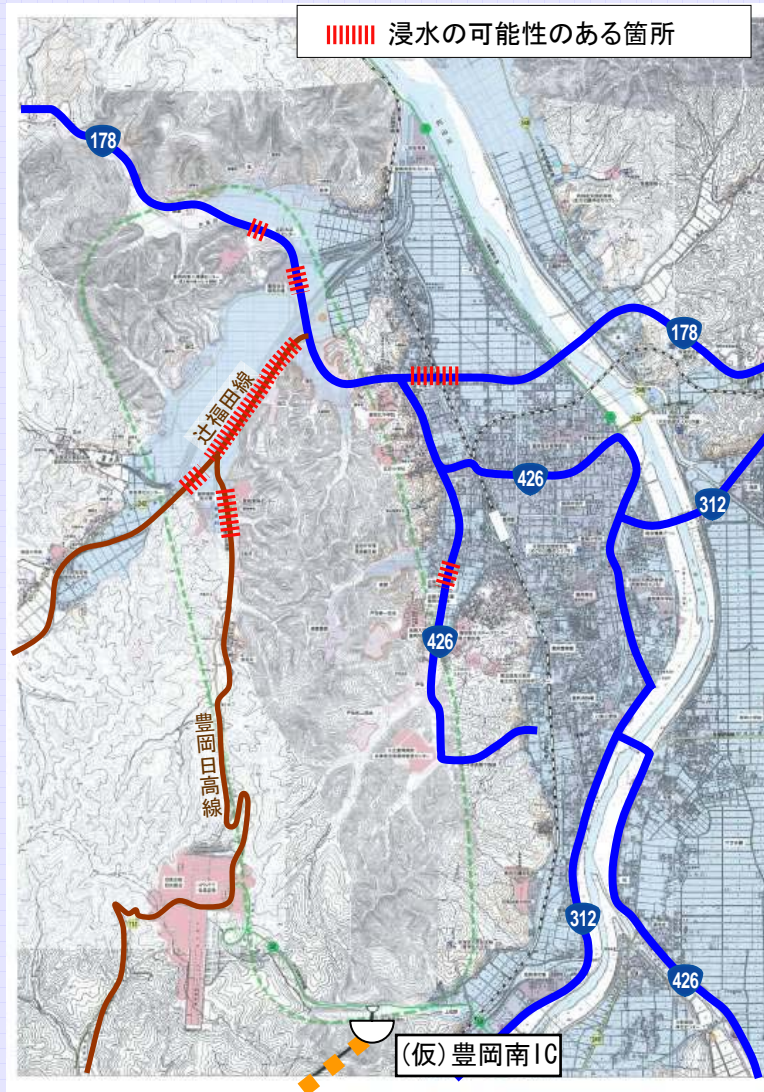
～災害～

・平成16年の台風23号では、但馬地域は大きな被害を受け、**円山川周辺では道路が水につきり通行できなくなった**。このため、救援物資などの輸送や救急救援活動に困難を強いられた。

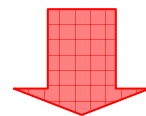




- ・豊岡市内においても国道や県道に浸水の可能性のある箇所が存在



豊岡市内への浸水時の緊急輸送道路の確保が必要

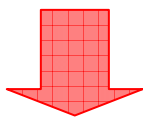


緊急輸送道路となる道路については水害に浸からない道路整備が求められる



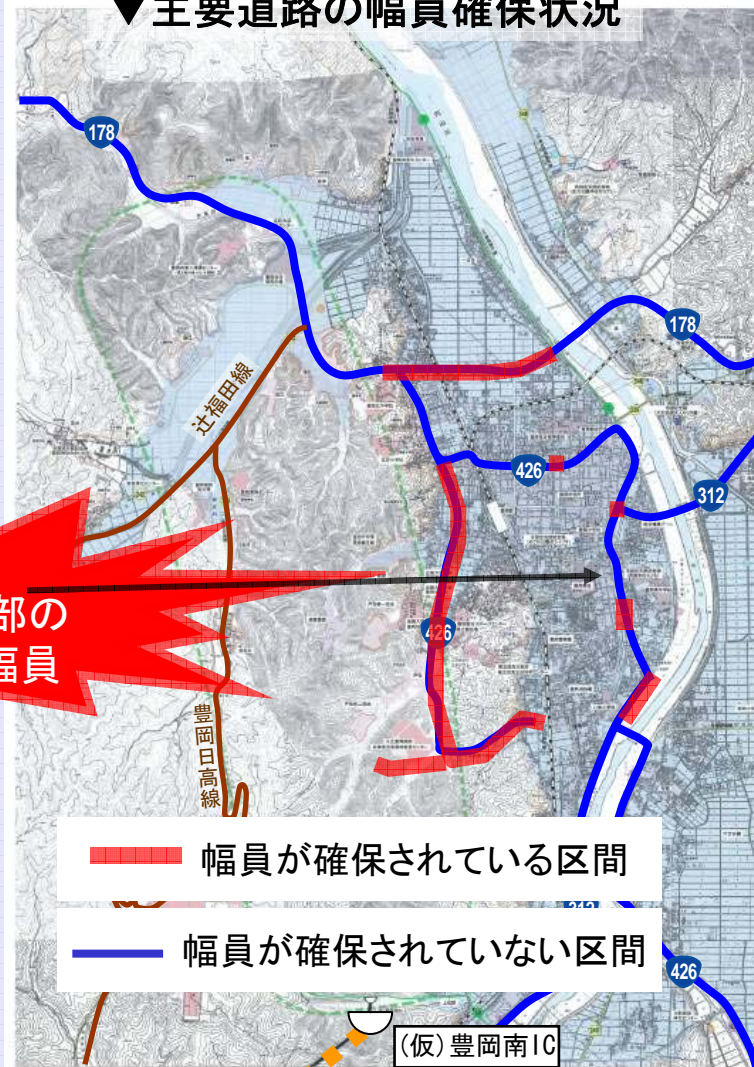
平成16年台風23号の  
円山川氾濫時の豊岡市内

- ・豊岡市内の国道312号及び426号は**冬季積雪時に十分な幅員が確保できない箇所が多い**
- ・**歩行者・自転車が車道を走行せざるを得ない場面**があるなど、交通安全上問題がある



冬季の円滑な交通の確保が必要

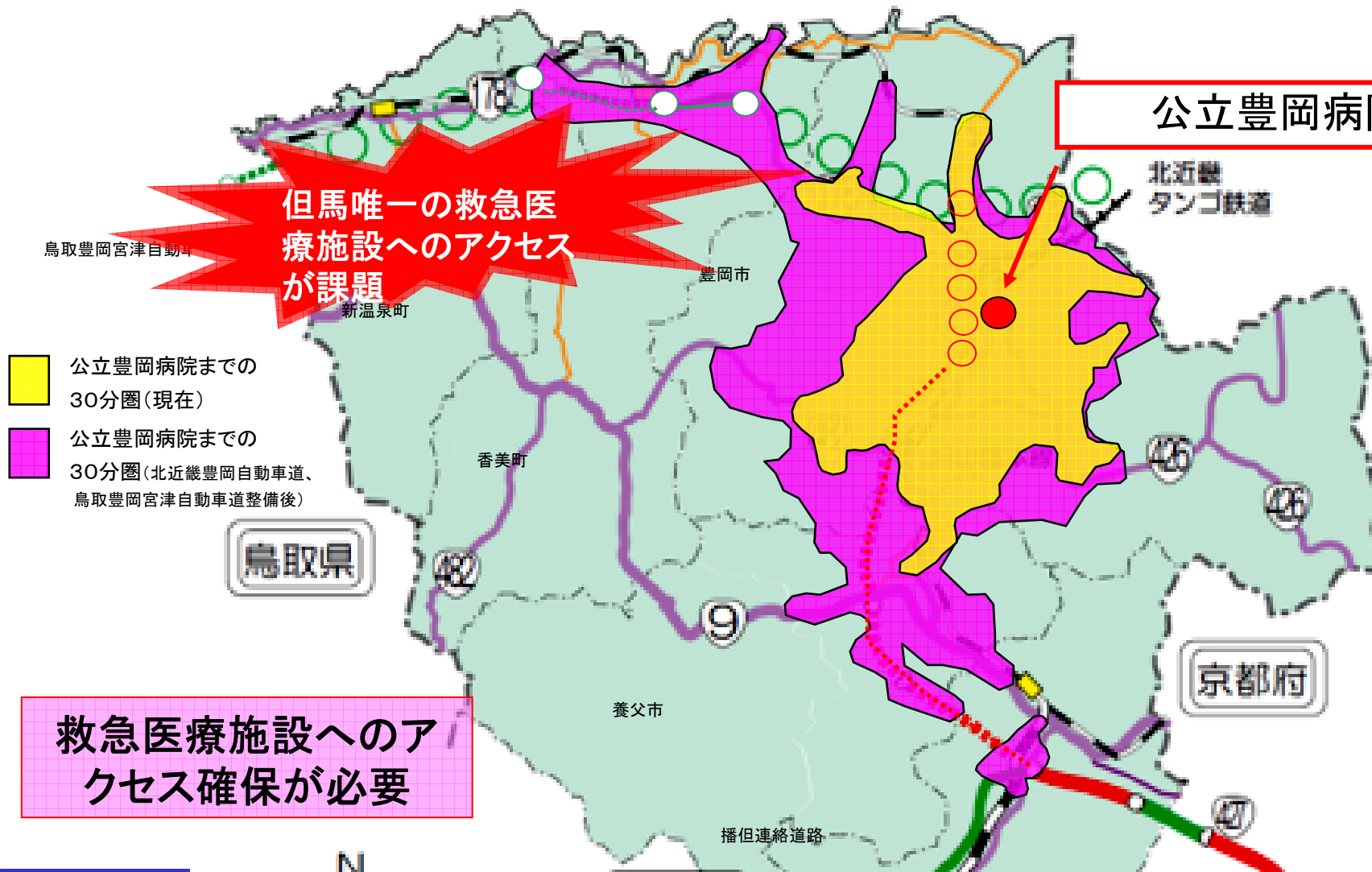
### ▼主要道路の幅員確保状況





・但馬地域唯一の第3次救急医療施設である公立豊岡病院から30分以内に到達できるエリアは限られている→**道路整備の遅れにより但馬地域住民の生活が脅かされている**

◆第3次救急医療施設(豊岡病院)までの30分到達圏



# 豊岡市内の交通課題と豊岡道路の必要性

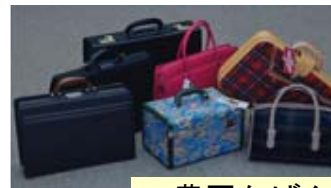
## ～観光・地場産業～

・但馬地域の大部分はインターチェンジからの30分アクセス圏外で、**高速道路へのアクセス性が不十分**であり、企業誘致や観光客誘致の障害

▼高速道路インターからの到達時間図



時間短縮による京阪神都市圏との連携強化が必要



豊岡かばん



ズワイガニ



城崎温泉

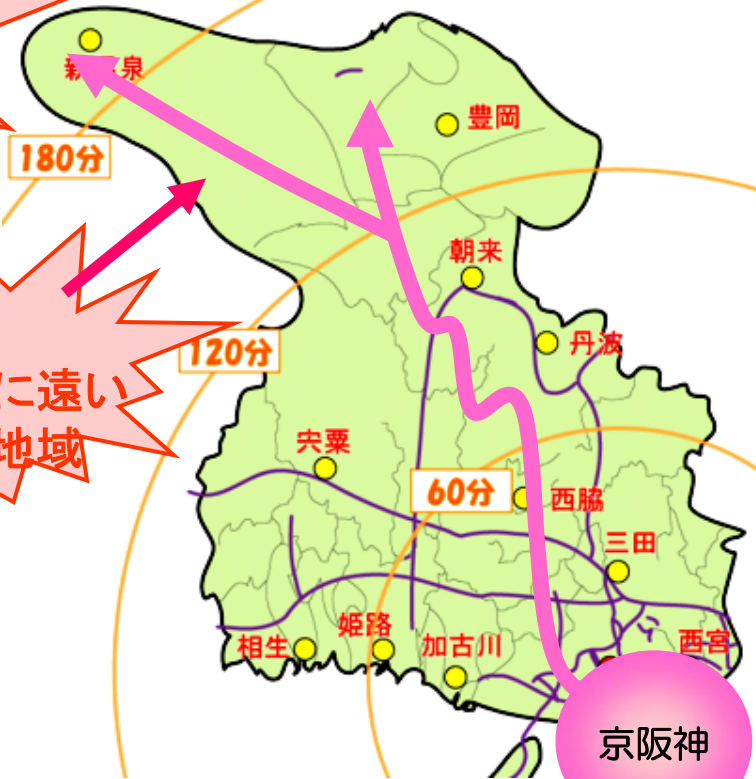


神鍋高原

▼兵庫県庁からの時間距離地図

但馬地域のみ  
高速道路が  
未整備

時間的に遠い  
但馬地域



(平成19年末時点)

# 豊岡市内の交通課題と豊岡道路の必要性

## ～渋滞～

現在、豊岡市内では、ピーク時最大1.7kmもの渋滞が観測されるなど、**平日朝及び休日夕方**の交通渋滞が顕著である。



▲ 豊岡市城南町



▲ 豊岡市塩津町



▲ 豊岡市九日市下町

### ▼ 休日の渋滞状況(夕方16時台)

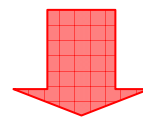


平成19年2月11日(祝)調査

### ▼ 平日の渋滞状況(朝8時台)



平成19年6月12日・19日(火)調査



豊岡市内の渋滞緩和による交通の円滑化が必要



# 豊岡市内の交通課題と豊岡道路の必要性

## ～交通状況～

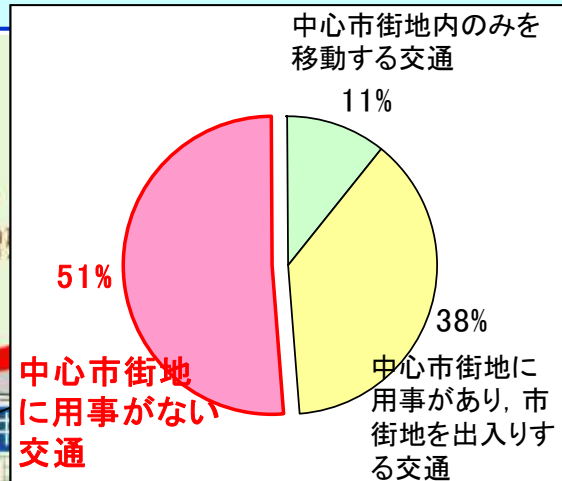
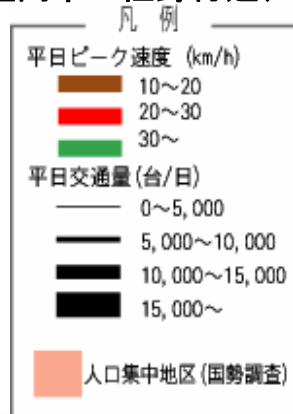
- ・豊岡市内は国道312号の市街地に大部分の交通が集中しており、交通量は約2万台前後(平日)
- ・ピーク時の平均走行速度は20km/h台と低い



▲豊岡市蓼川大橋付近(22千台)



▲豊岡市上佐野付近(22千台)



▲豊岡市塩津町付近(10千台)

豊岡市内の国道312号は中心市街地に用事のない交通が半数

ピーク時の交通混雑の大きな要因となる

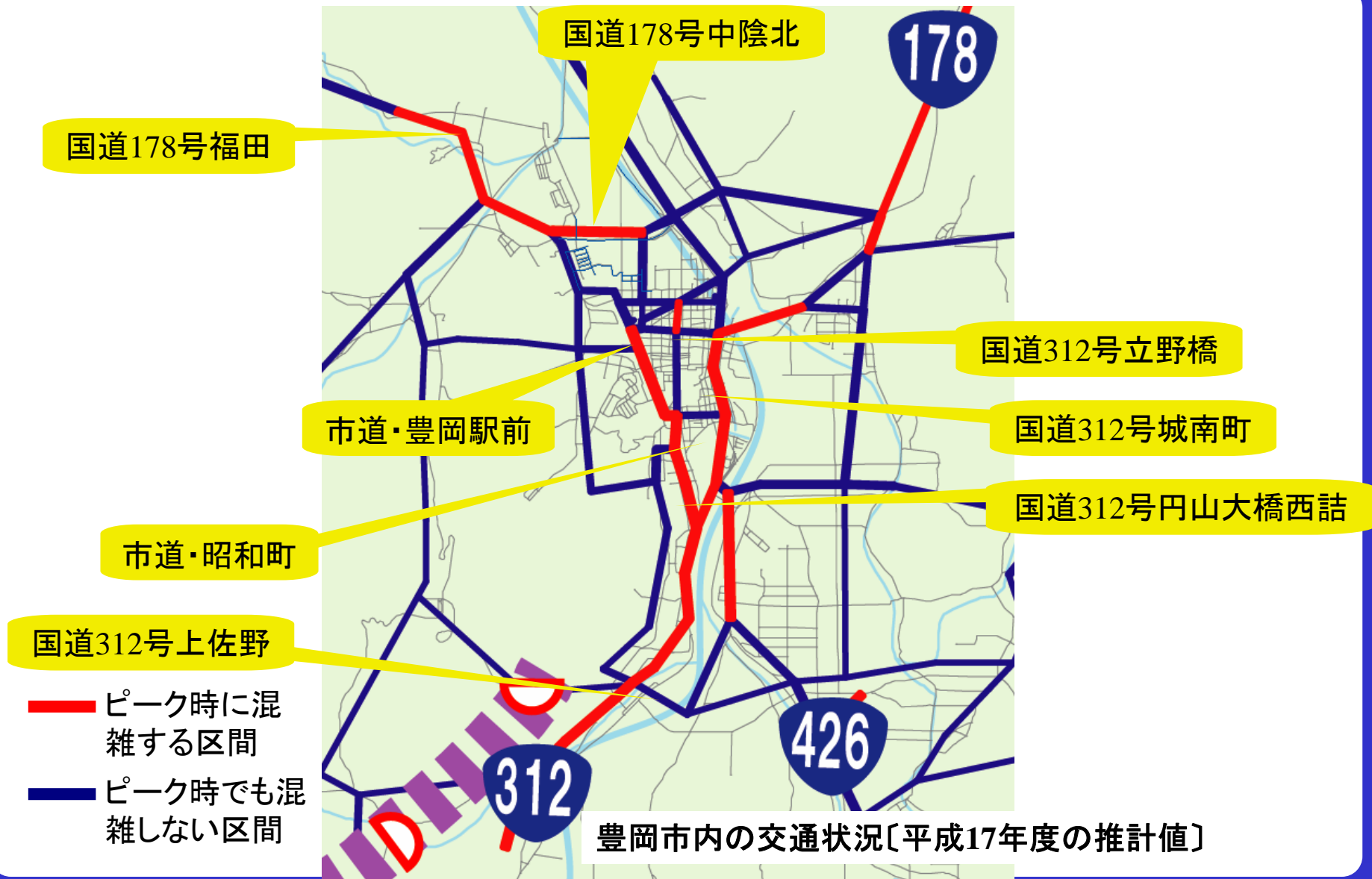
図 豊岡市周辺の交通量(線の太さ) ピーク時平均走行速度(線の色)

数字:平成17年道路交通センサス 平日24時間交通量

# 豊岡市内の交通課題と豊岡道路の必要性

## ～交通状況～

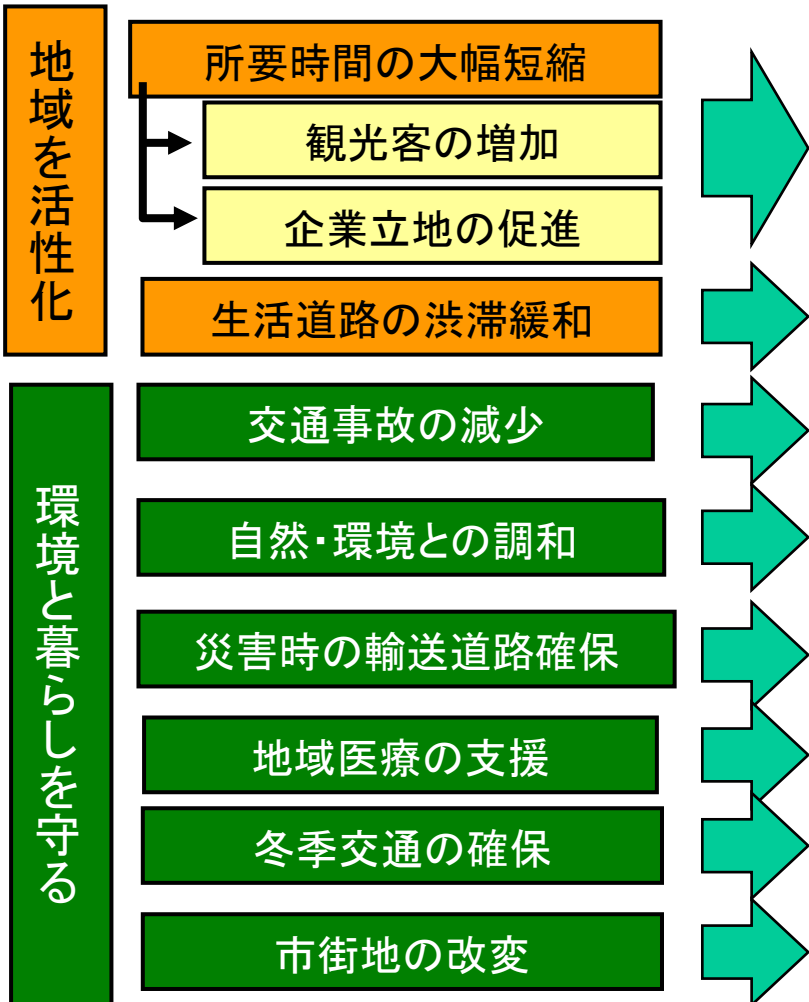
・豊岡市中心部では、国道312号、426号だけでなく、豊岡市内の**生活道路(市道)**においても混雑が見られる →豊岡市中心部に交通が集中



# 但馬のみちづくりの方向性と対応

・但馬地域における課題への解決策としては、下記に示す施策が考えられる

## 但馬地域における課題



## 高速道路整備の効果と既存道路拡幅の課題

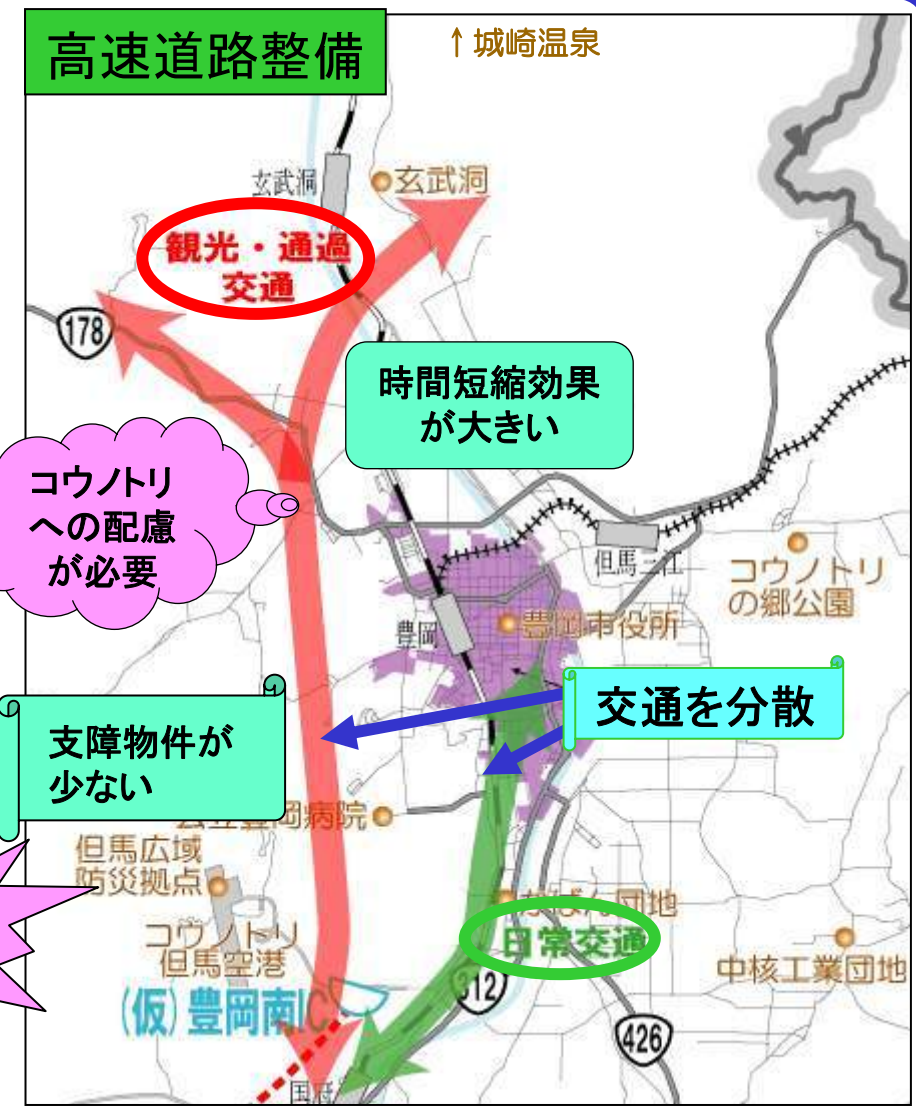
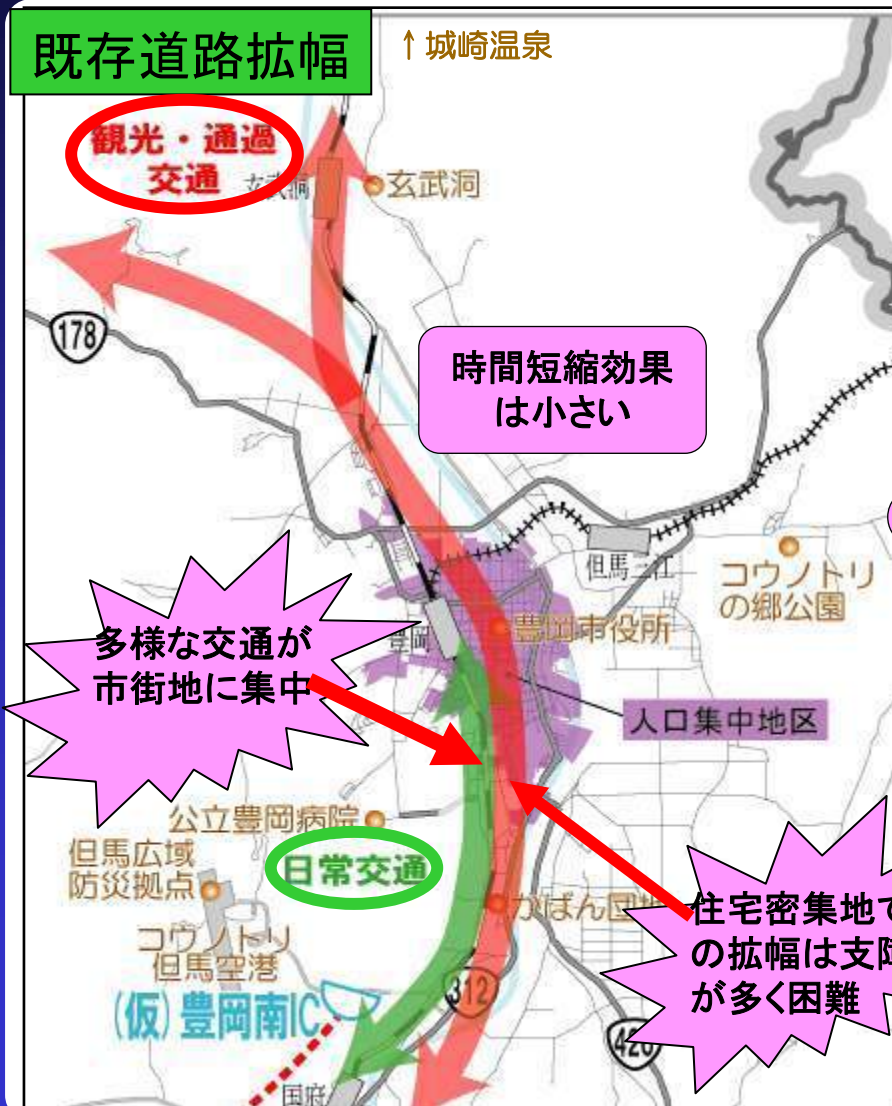
高速道路整備	既存道路拡幅
常時高速(時速80km)で移動可能 時間短縮効果大きい	信号の影響を受け速度が低下する 時間短縮効果が小さい
一般道から転換による渋滞緩和	拡幅により渋滞緩和
一般道から転換による事故減少	市街地での交通事故増加
自然環境に影響	人の生活環境に影響
水害時に代替輸送可能	市街地で水害による影響が懸念
豊岡病院へのアクセスを改善する道路づくりが必要	
広い路肩の確保が必要 除雪体制の強化による対応が必要	
市街地の改変がない	市街地の改変が大きい(約100件程度の住宅・店舗移転)

赤字:効果と考えられるもの 青字:課題と考えられるもの



## 豊岡市内における道路整備の課題及び対応策

- ・**既存道路拡幅**では、引き続き豊岡市中心部の国道312号に観光・通過・日常交通が集中
- ・**高速道路整備**では、日常交通と観光・通過交通を分散させることが可能

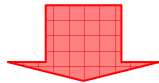


# **(3) コウノトリと共生する道路整備 の考え方について**

# コウノトリによる地域活性化と道路の役割

- ・コウノトリと地域住民の共生により、**環境と経済活性化を両立したまちづくりを進めている**
- ・道路整備も、貴重な**コウノトリの生態に配慮しつつ、地域活性化に資する計画とする必要**

- ・「コウノトリと共生できる環境が、人にとっても安全で安心できる豊かな環境」
- ・大都市からの観光客誘致により、コウノトリをシンボルとしたツーリズムをさらに促進、活性化させる
- ・豊岡の貴重な自然財産であるコウノトリを間近に見てもらうことによって、全国に自然環境保護の必要性を啓蒙・発信する



- ・コウノトリの生態や生活環境に配慮しつつ、他地域からの来訪者が訪れやすい交通整備を進める



2005.9.24 歴史民俗資料館

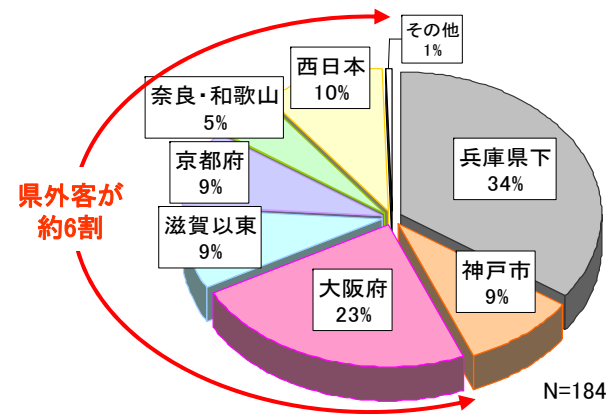


春日～氷上間供用 ↑

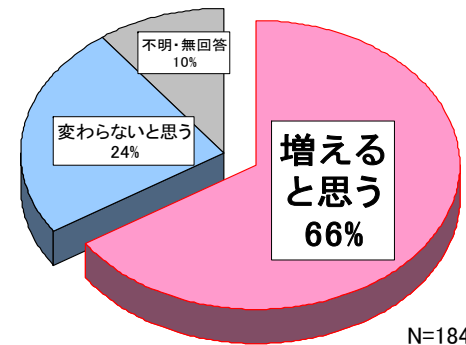
↑ 氷上～和田山間供用

## コウノトリの郷公園来訪者アンケート

### ▼ 観光客の出発地(居住地)



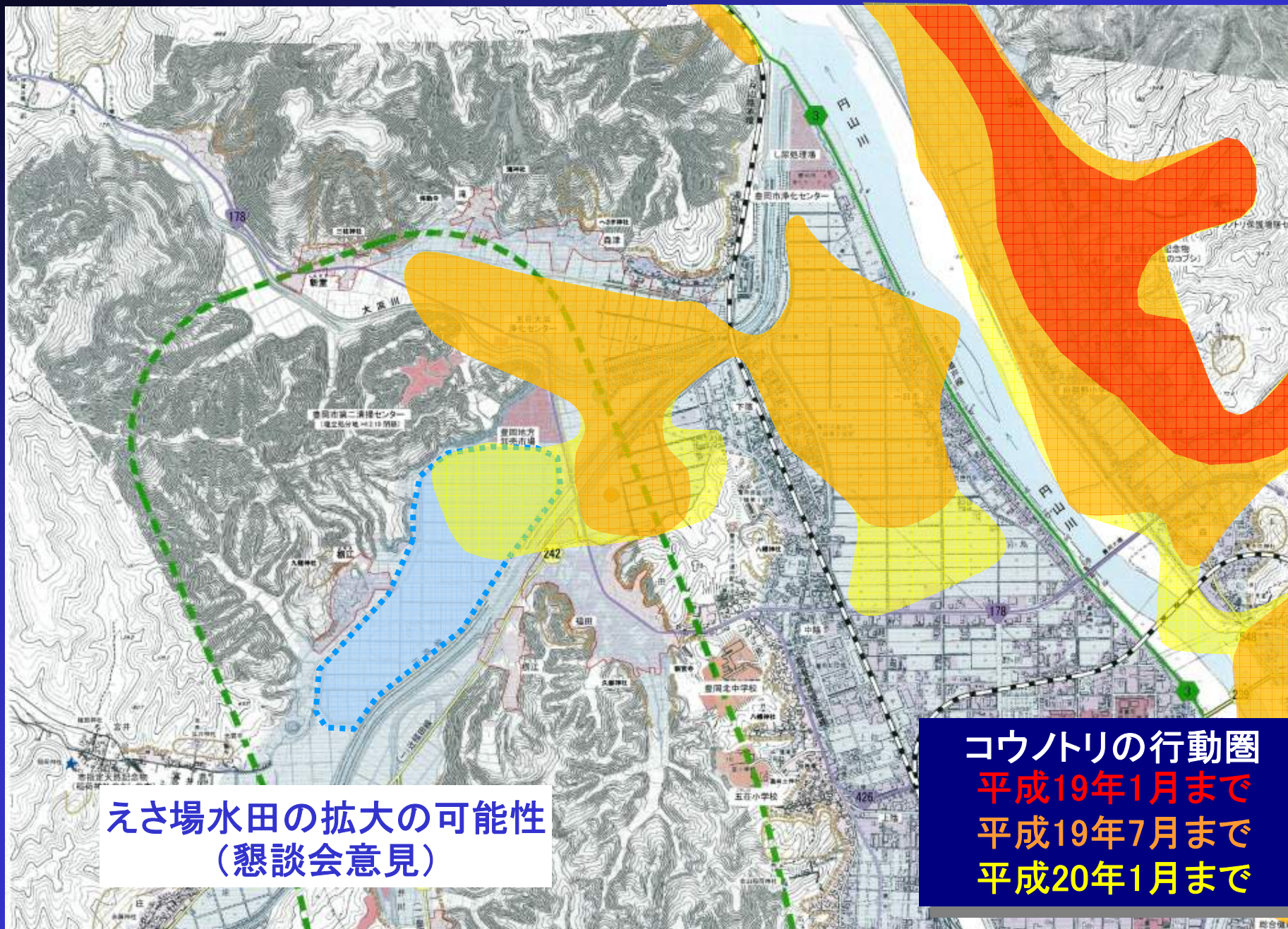
### ▼ 北近畿豊岡自動車道全線整備によって但馬地域への来訪が増えると思うか



出典：豊岡河川国道事務所調べ(コウノトリの郷来訪者アンケート)



# コウトリの行動圏



- コウノトリのえさ場を確保
- コウノトリの飛翔を確保



福田、栃江付近

## 2. 豊岡道路計画で考慮する事項



# 概略ルート(案)検討のフロー

1. 豊岡道路ルート範囲(第1回懇談会で提示)

第2回懇談会

2. コントロールポイント及び配慮事項の確認  
(アンケート調査と第1回懇談会での意見を踏まえ討議)

3. 豊岡道路概略ルート(案)の範囲の考え方

4. 概略ルート(案)の提示(第3回懇談会で予定)

# アンケート調査での意見

設問: 今後、北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」を、さらに検討していく際に、どのようなことに配慮すべきでしょうか？

- ・豊岡市の西側を通るルートとすること
- ・住宅地を避け、水田や山林を通るルートとすること
- ・コウノリやクマタカなど貴重な動植物と共存できるルートとすること
- ・災害時でも走行できるルートとすること
- ・冬場でも走行しやすい道路の幅にすること

## 自由意見

- ・インターチェンジにアクセスしやすい道路にすること
- ・コウノリの餌場の水田に配慮すること
- ・粘土質の田園地帯や神社、仏閣、墓地、遺跡に配慮すること
- ・景観に配慮すること

## 分類

自然に関する項目

社会環境に関する項目

史跡・墓地等に関する項目

公共施設等に関する項目

防災関連に関する項目

その他に関する項目



# 第1回懇談会での意見

## 第1回懇談会での意見

・ 豊岡地域においては貴重な動植物について配慮すること。

・ 景観に配慮すること。

・ 観光資源と救急医療のネットワークに配慮すること。

・ 起点部(北端)は現道等のアクセスを考慮して検討すること。

## 分類

自然に関する項目

社会環境に関する項目

史跡・墓地等に関する項目

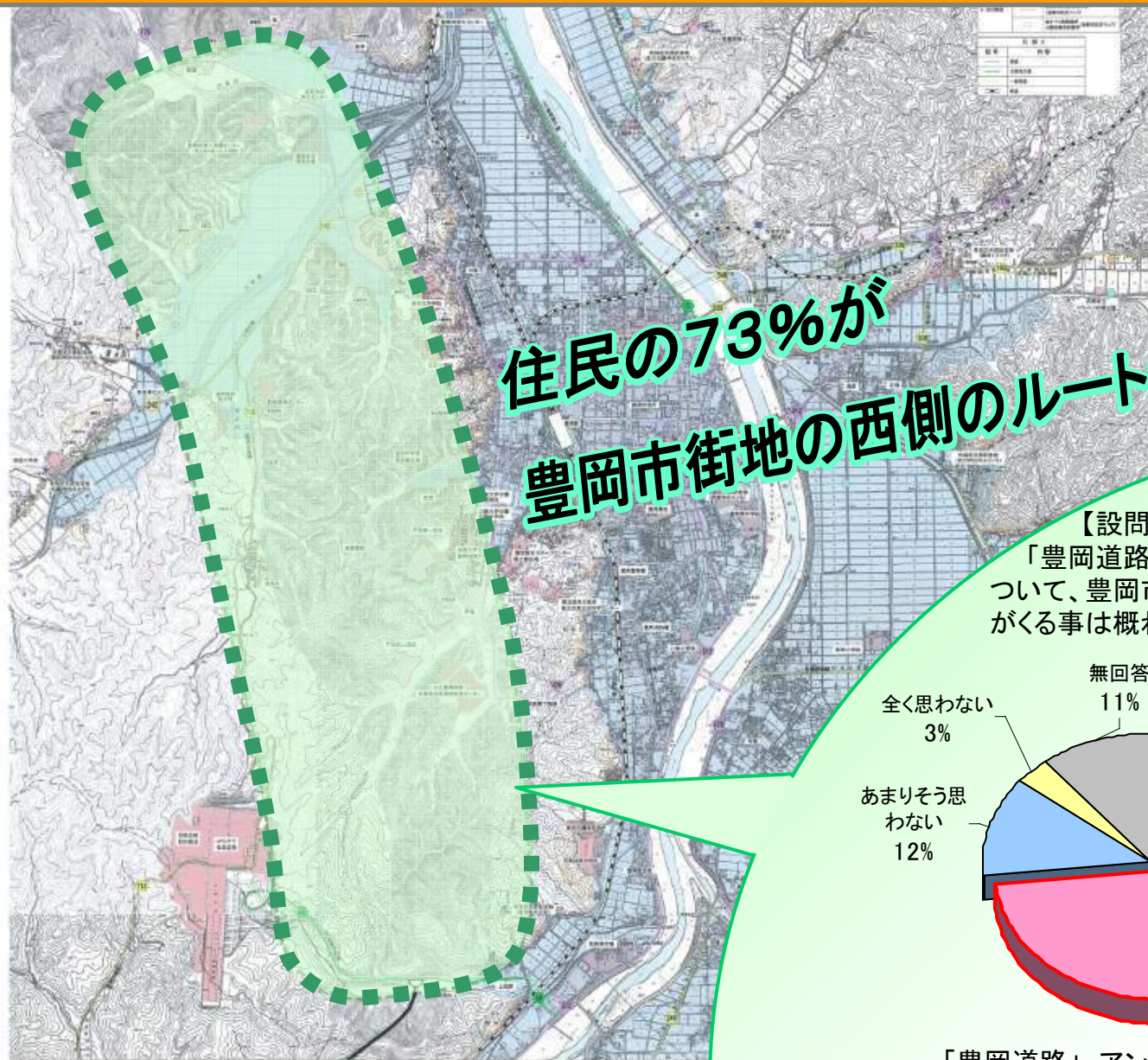
公共施設等に関する項目

防災関連に関する項目

その他に関する項目

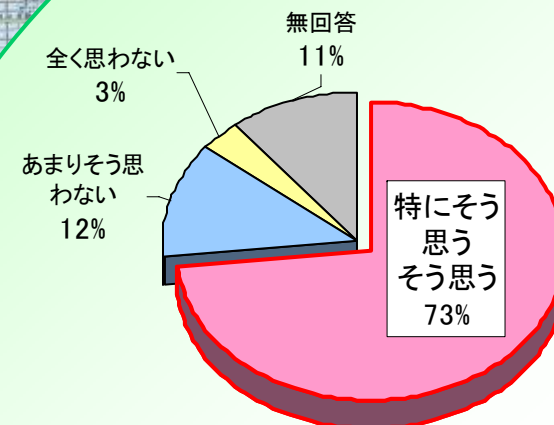
# 1. 豊岡道路ルート範囲

(アンケート調査結果により第1回懇談会にて提示)



【設問】

「豊岡道路」のおおよその範囲について、豊岡市街地の西側にルートがくる事は概ね妥当だと思う。



「豊岡道路」 アンケート調査結果 (H19)

## 2. コントロールポイント及び配慮事項の考え方

### コントロールポイント

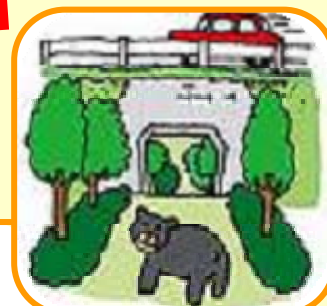
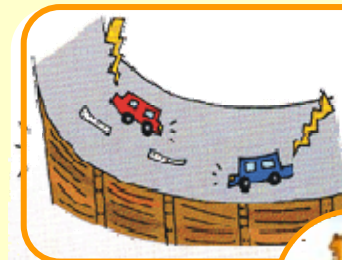
- 道路のルートを検討する際に、  
極力避けるべきもの



### 配慮事項

- ルートの配慮事項  
道路のルートを検討する際に、  
地域の状況をふまえて考慮するもの
- 技術的検討課題  
ルートだけでなく、構造で配慮するもの

エコロード  
道路としての機能は重要



景観に配慮



## 1) 周辺のコントロールポイント(第1回懇談会にて説明)

**コントロールポイント**とは、道路の利便性を考慮して通過すべき地点、支障すると社会的影響等が大きく避けるべき地物・建物等。



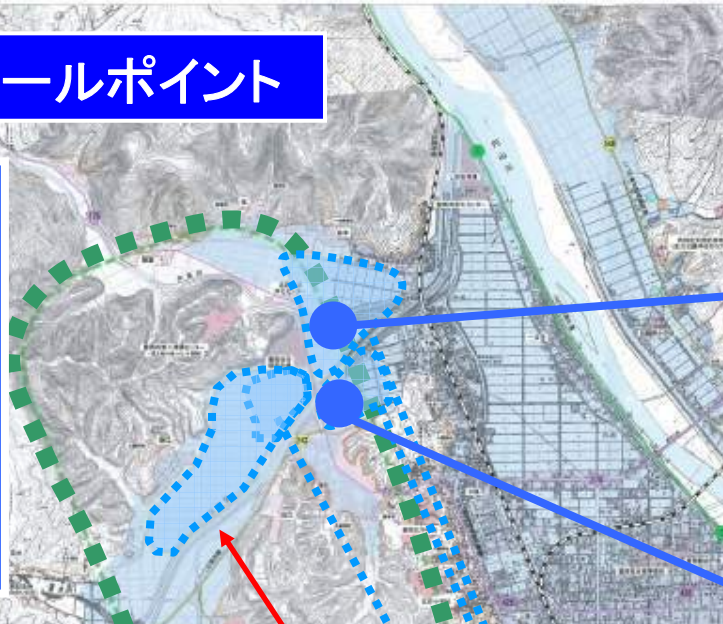
### 主なコントロールポイントの項目

項目	内容
A. 自然	貴重な動植物、採餌場、営巣地等
B. 社会環境	学校、病院、住宅密集地等
C. 史跡等	天然記念物、遺跡、文化財、社寺、仏閣、霊園等
D. 公共施設等	空港、鉄道駅、浄水場、清掃センター等
E. 防災関連	平成16年台風23号浸水区域、地すべり危険箇所等



# A. 自然に関するコントロールポイント

## オオタカ



## コウノトリ人工巣塔



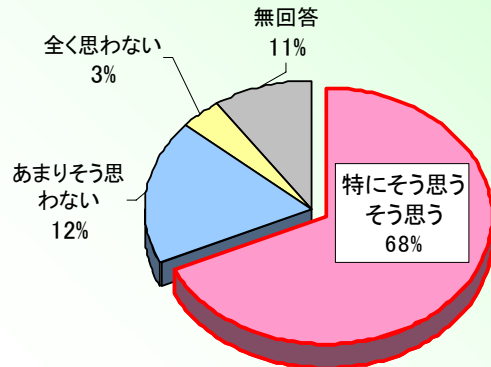
## ビオトープ



えさ場水田の拡大の可能性  
(懇談会意見)

**住民の68%が  
貴重な動植物との共存を望む!**

【設問】コウノトリや生態系の頂点であるクマタカなど貴重な動植物と共存できるルート・構造にした方が良い



「豊岡道路」 アンケート調査結果(H19)

## コウノトリの飛来地(えさ場)

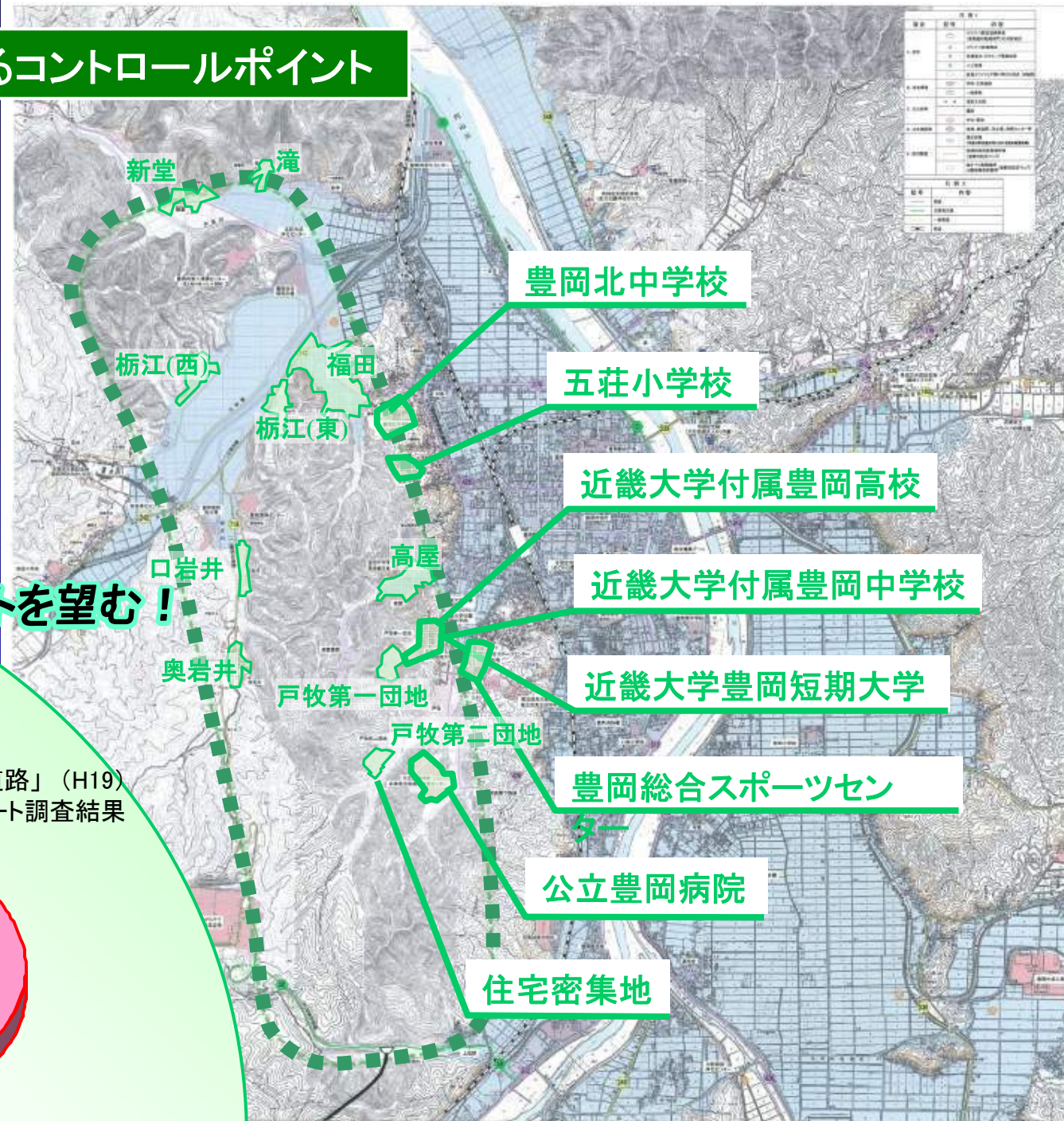
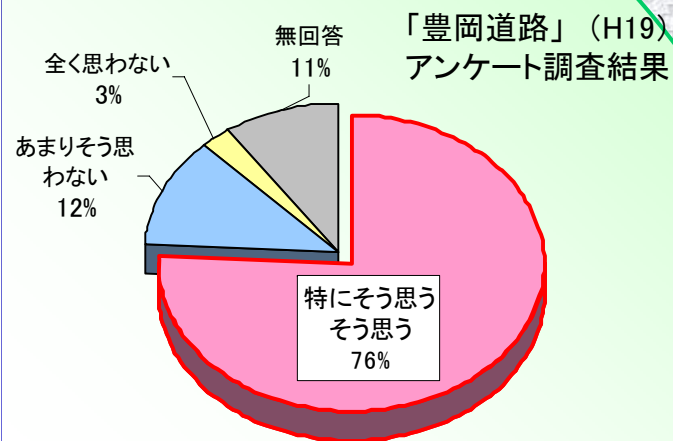




## B. 社会環境に関するコントロールポイント

**住民の76%が  
住宅地を避けたルート  
を望む！**

【設問】住宅地を避けて、水田や山林を通るルートとすべきである



住宅密集地

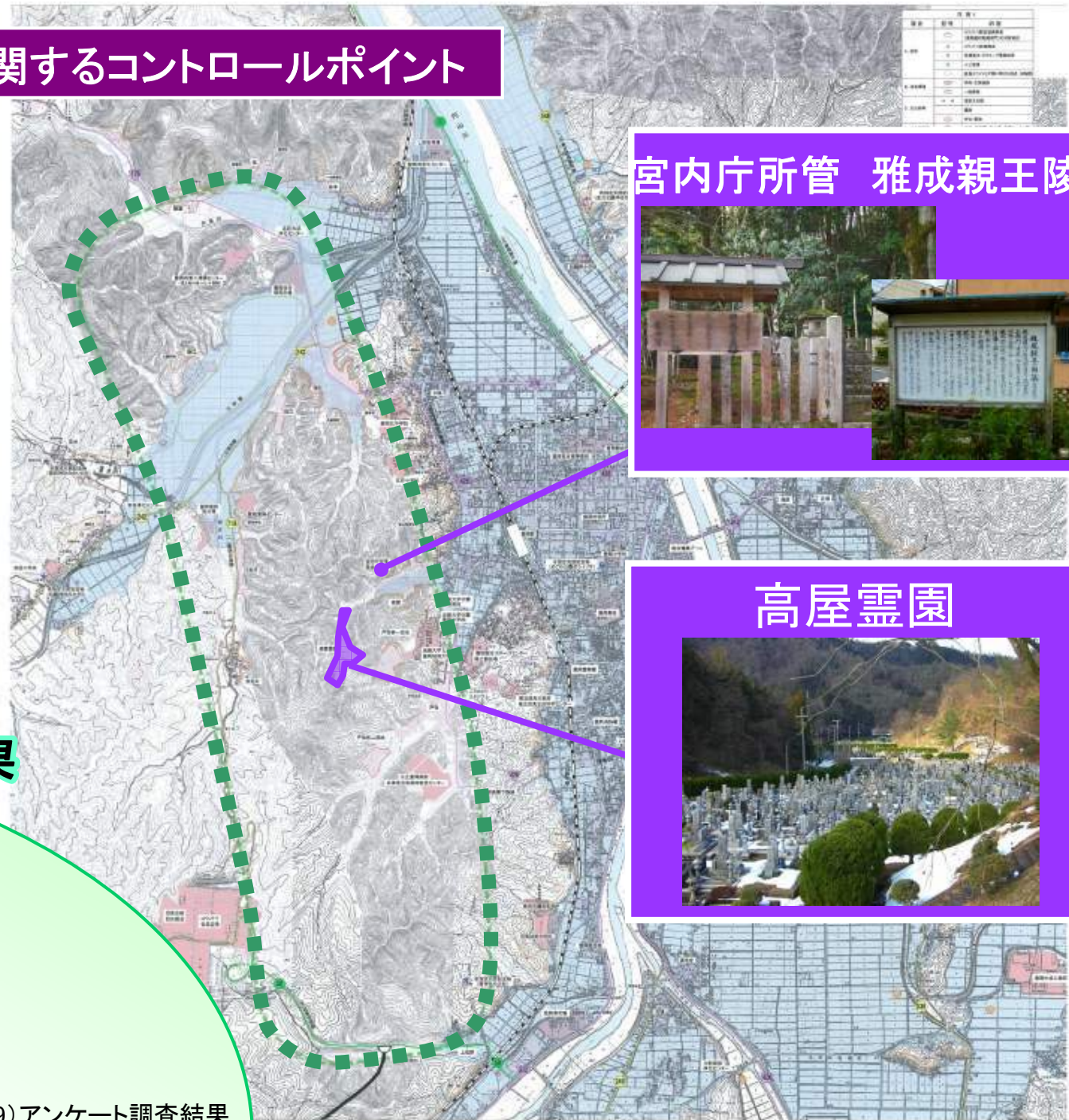


## C. 史跡・墓地等に関するコントロールポイント

### アンケート調査結果 自由意見

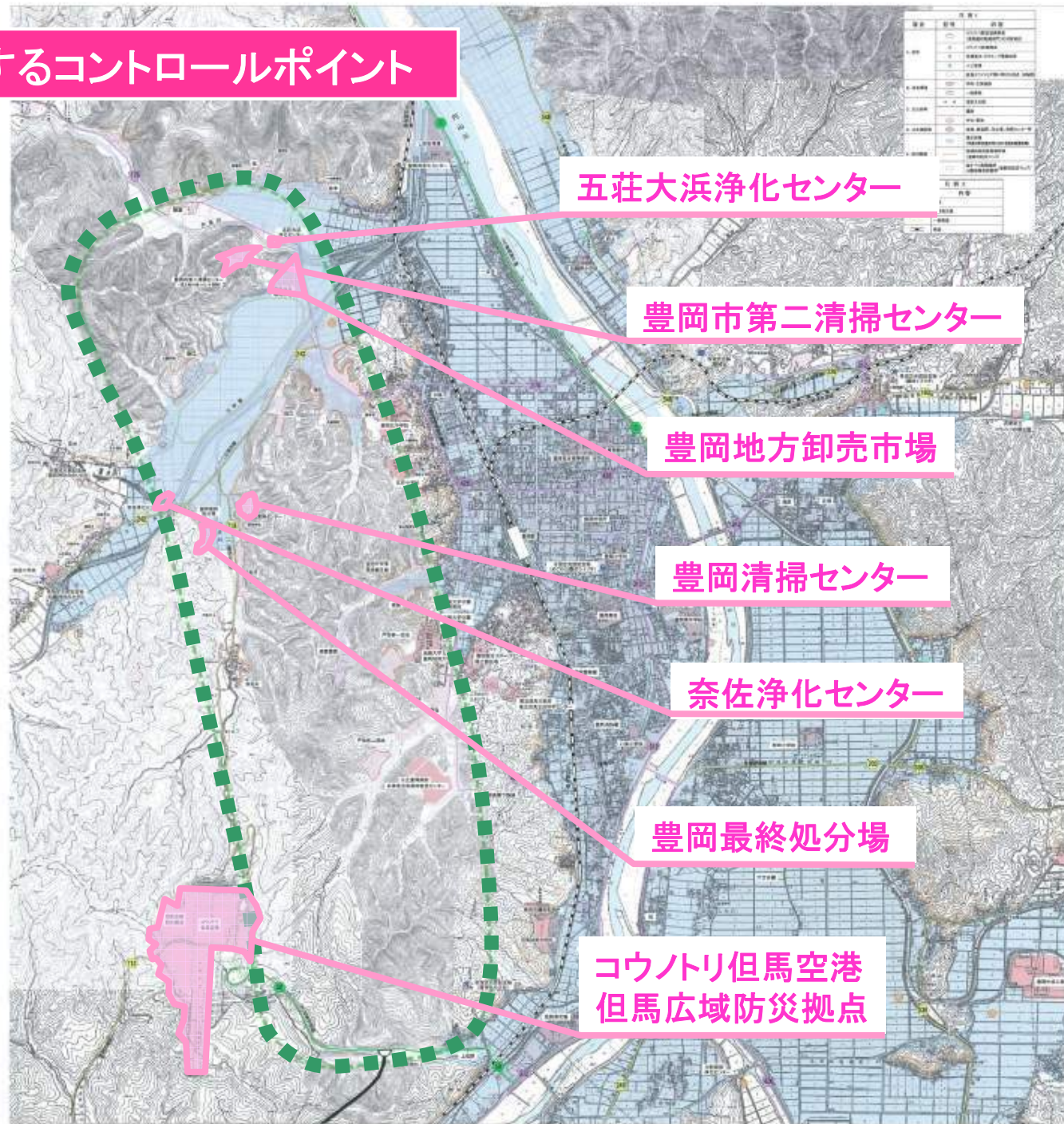
- ・ 神社、仏閣、墓地、  
遺跡に配慮すること

「豊岡道路」(H19)アンケート調査結果





## D. 公共施設等に関するコントロールポイント

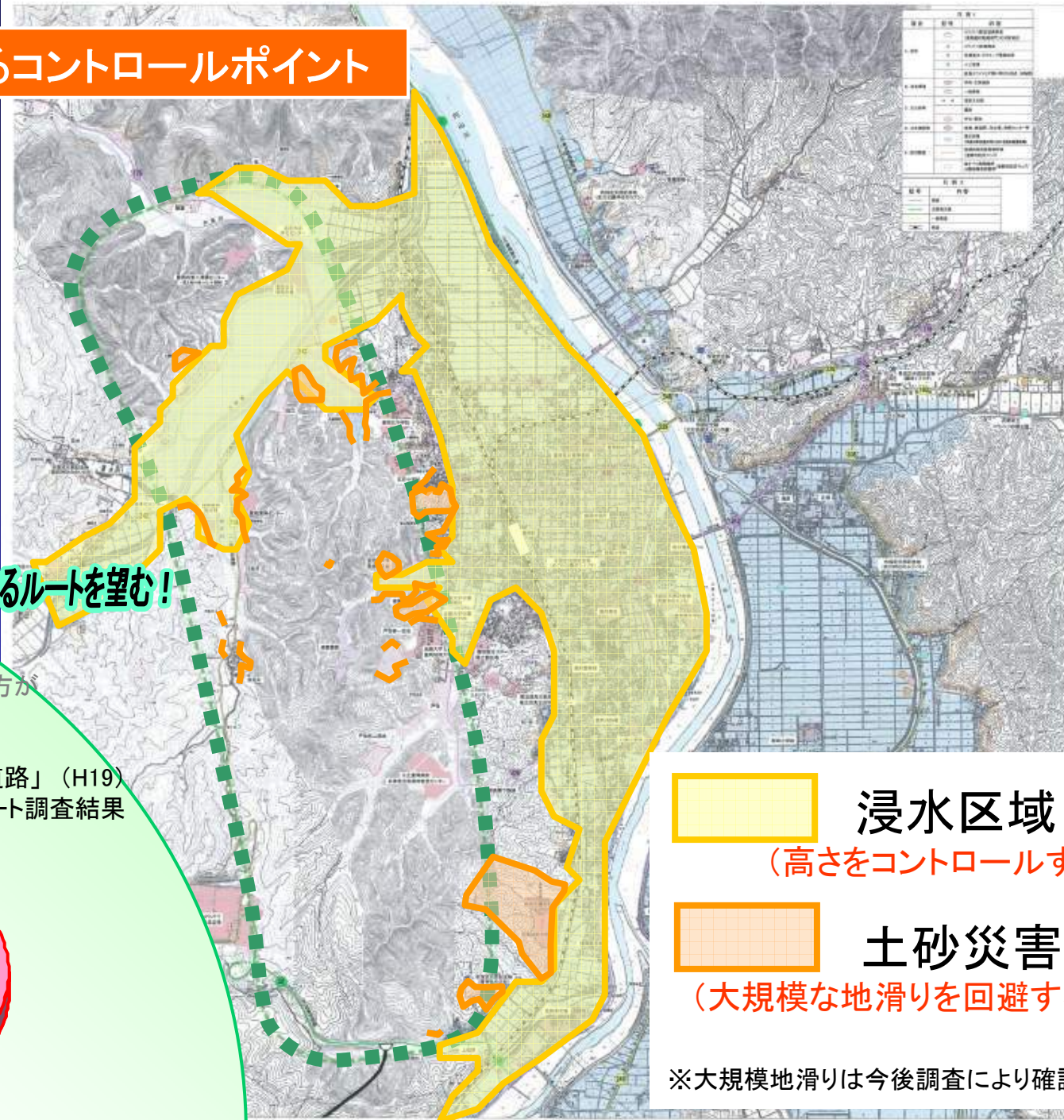
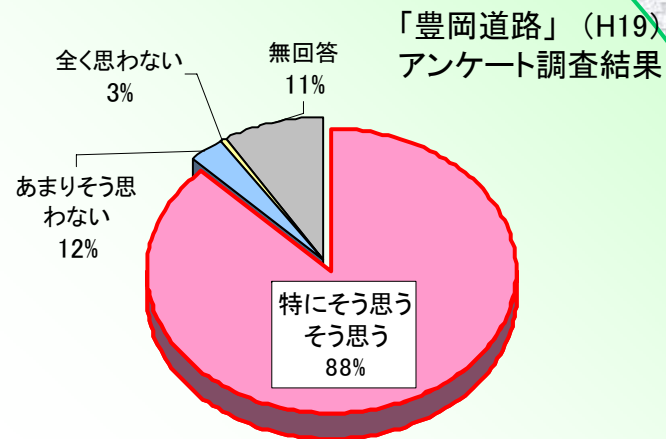




## E. 防災関連に関するコントロールポイント

**住民の88%が  
災害時の緊急輸送道路として走行できるルートを望む!**

【設問】災害時でも緊急輸送として走行できるルート・構造にした方が  
良い





# コントロールポイントの合成





## 2) 配慮事項(ルート検討上の配慮事項)

### 自然に対する配慮事項

意見：貴重な動植物との共存

えさ場水田拡大の可能性  
→えさ場水田(将来)に配慮  
→専門家の意見を参考

コウノトリの巣塔、ピオトーフ、飛来地(えさ場)



コントロールポイント

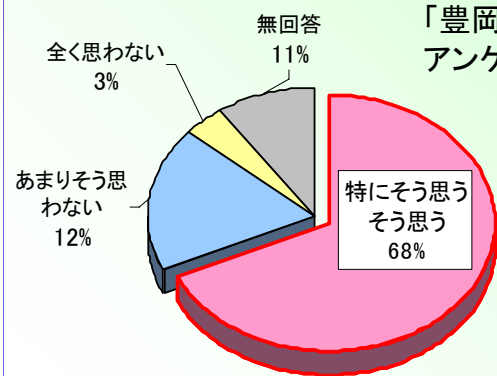
えさ場水田(将来)



住民の68%が  
貴重な動植物との共存を望む！

【設問】コウノトリや生態系の頂点であるクマタカなど貴重な動植物と共存できるルート・構造にした方が良い

「豊岡道路」(H19)  
アンケート調査結果



【自由意見】・コウノトリの餌場の水田に配慮すること

### コウノトリ

○法律及び制度上の位置づけ ○地域の位置づけ

- ・特別天然記念物(1956) [文化財保護法]
- ・国内希少野生動植物種(1993) [種の保存法]
- ・兵庫県の県鳥
- ・旧豊岡市の市鳥
- ・「コウノトリ野生復帰事業」
- ・「コウノトリ育む農法」



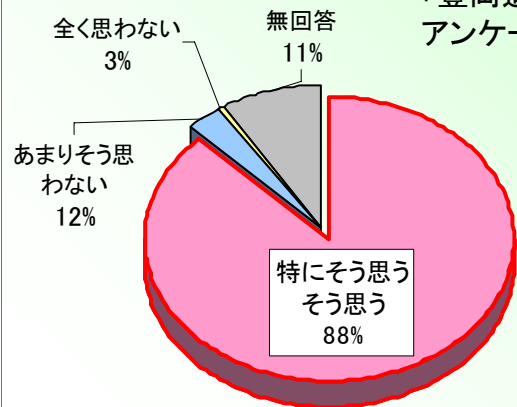
# 防災関連に関する配慮事項

意見：災害時の走行性

**住民の88%が  
災害時の緊急輸送道路として走行できる構造を望む！**

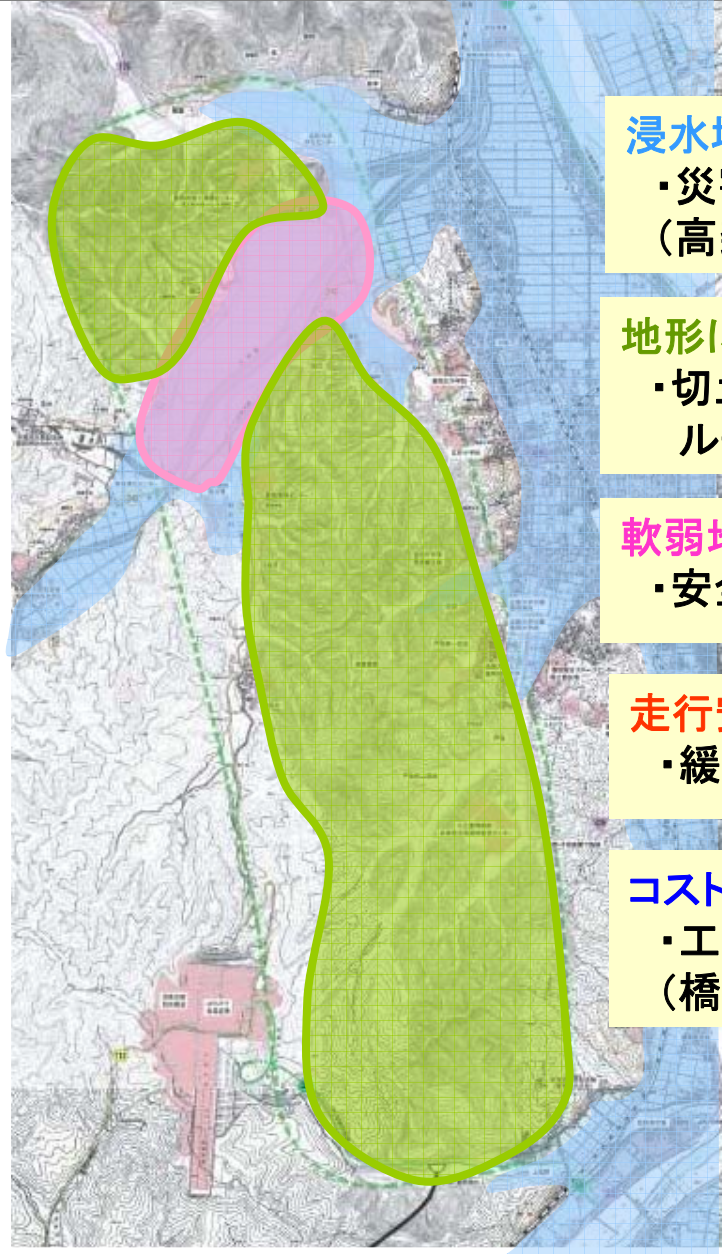
【設問】災害時でも緊急輸送として走行できるルート・構造にした方が良い

「豊岡道路」(H19)  
アンケート調査結果





### 3) 配慮事項(技術的検討課題)



#### 【アンケートでの意見】

#### 浸水域の道路構造を検討

- ・災害時にも安全に通行可能な道路構造を検討 (高架構造 等)

- ・災害時の走行性
- ・冬場の走行性

#### 地形に配慮した道路(詳細なルート)を検討

- ・切土盛土を極力少なくした地形改変の少ないルートを検討

- ・住宅地を避け  
水田、山林を通過

#### 軟弱地盤地域に配慮した道路構造を検討

- ・安全な道路構造を検討 (高架構造 等)

- ・災害時の走行性

#### 走行安全性に配慮した道路を検討

- ・緩やかな曲線となる平面及び縦断線形を検討

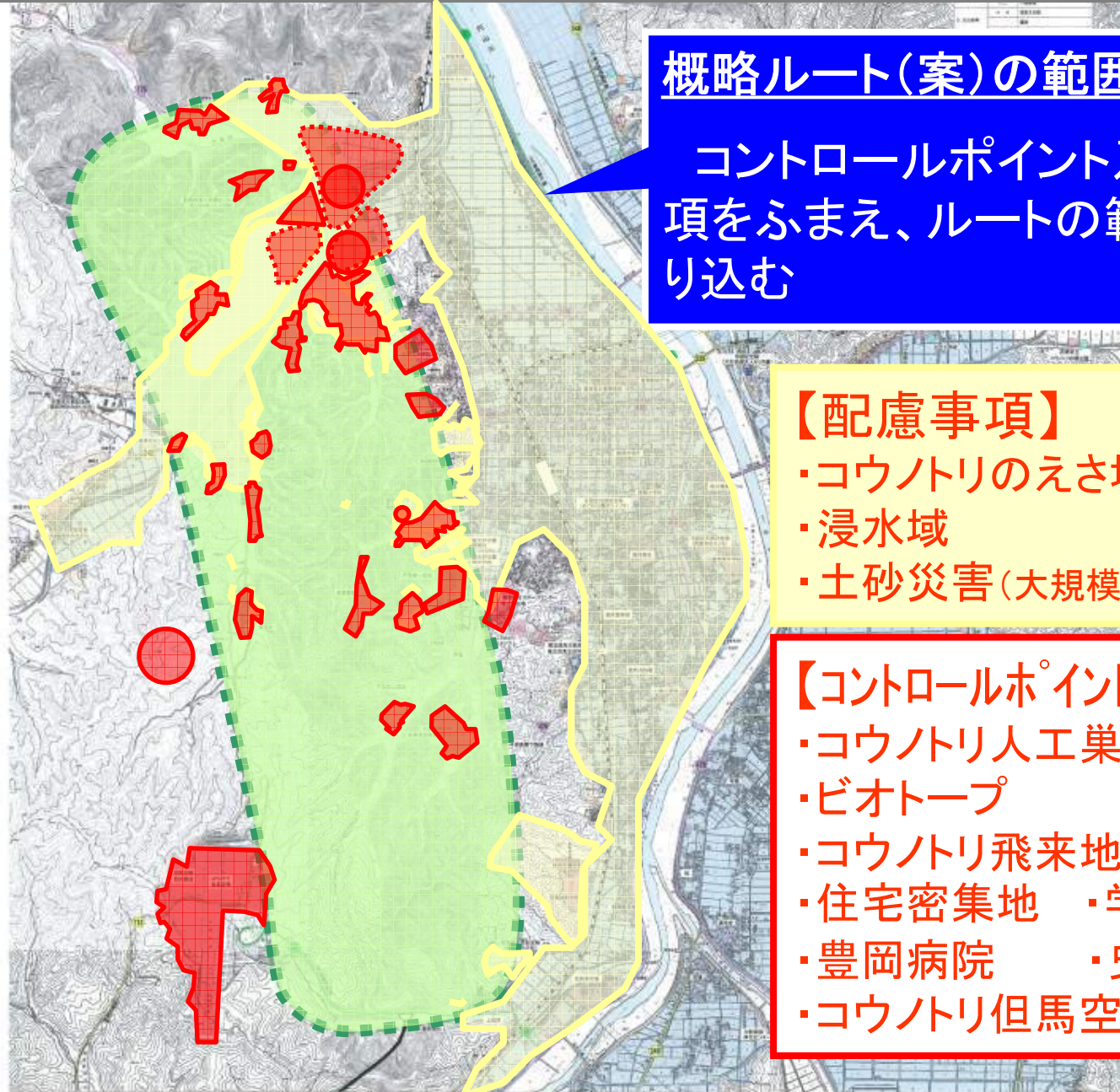
#### コスト縮減

- ・工事や維持管理のコストを少なくすることを検討 (橋梁やトンネルなどの構造物を少なくする 等)



総合的な見地からルート構造を検討していく。

### 3. 概略ルート(案)の範囲の考え方



#### 概略ルート(案)の範囲の考え方

コントロールポイント及び配慮事項をふまえ、ルートの範囲を絞り込む

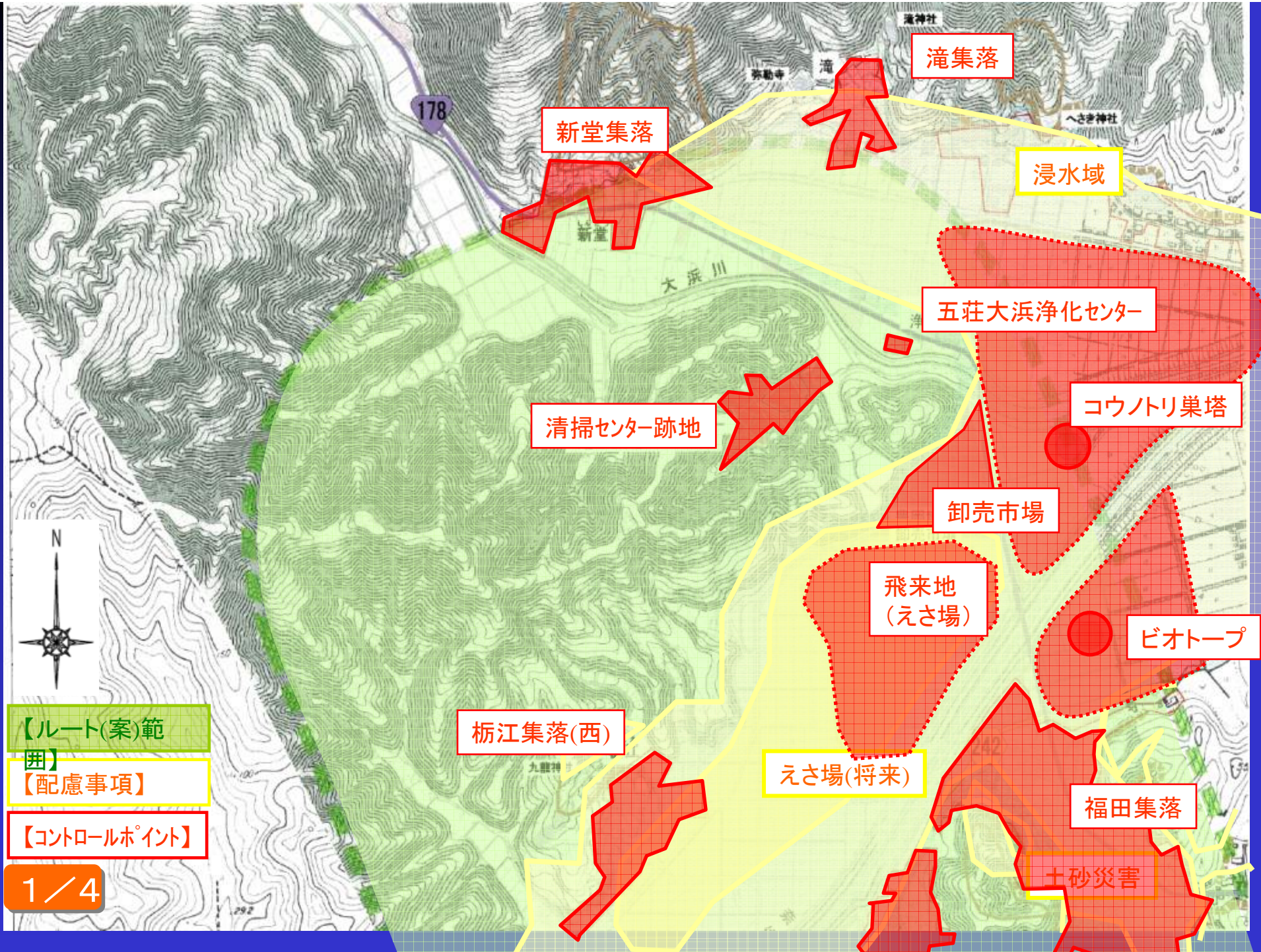
#### 【配慮事項】

- ・コウノリのえさ場(将来)
- ・浸水域
- ・土砂災害(大規模なもの除く)

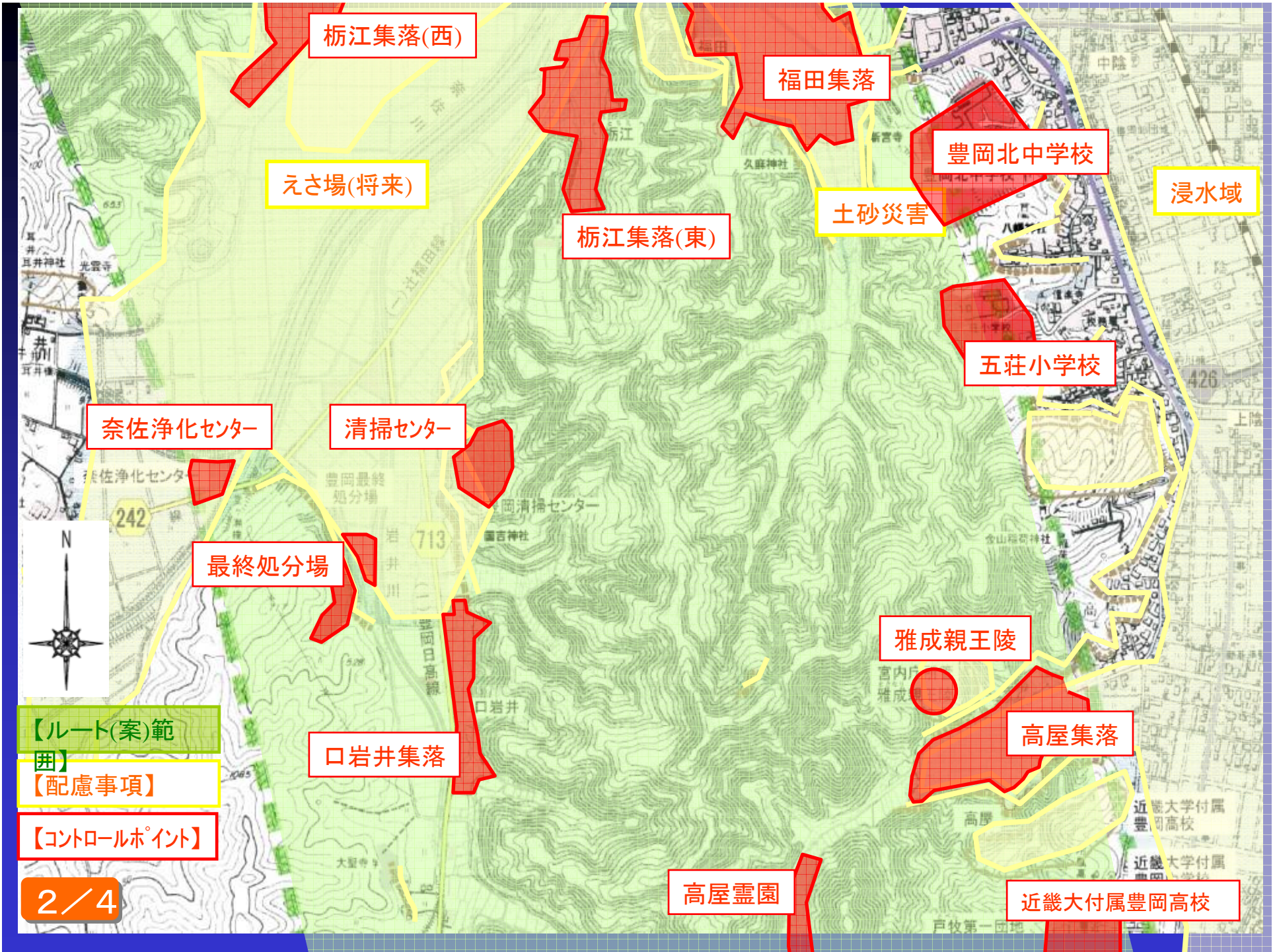
#### 【コントロールポイント】

- ・コウノリ人工巣塔
- ・ビオトープ
- ・コウノリ飛来地(えさ場)
- ・住宅密集地
- ・学校
- ・豊岡病院
- ・史跡・霊園
- ・コウノリ但馬空港
- 等

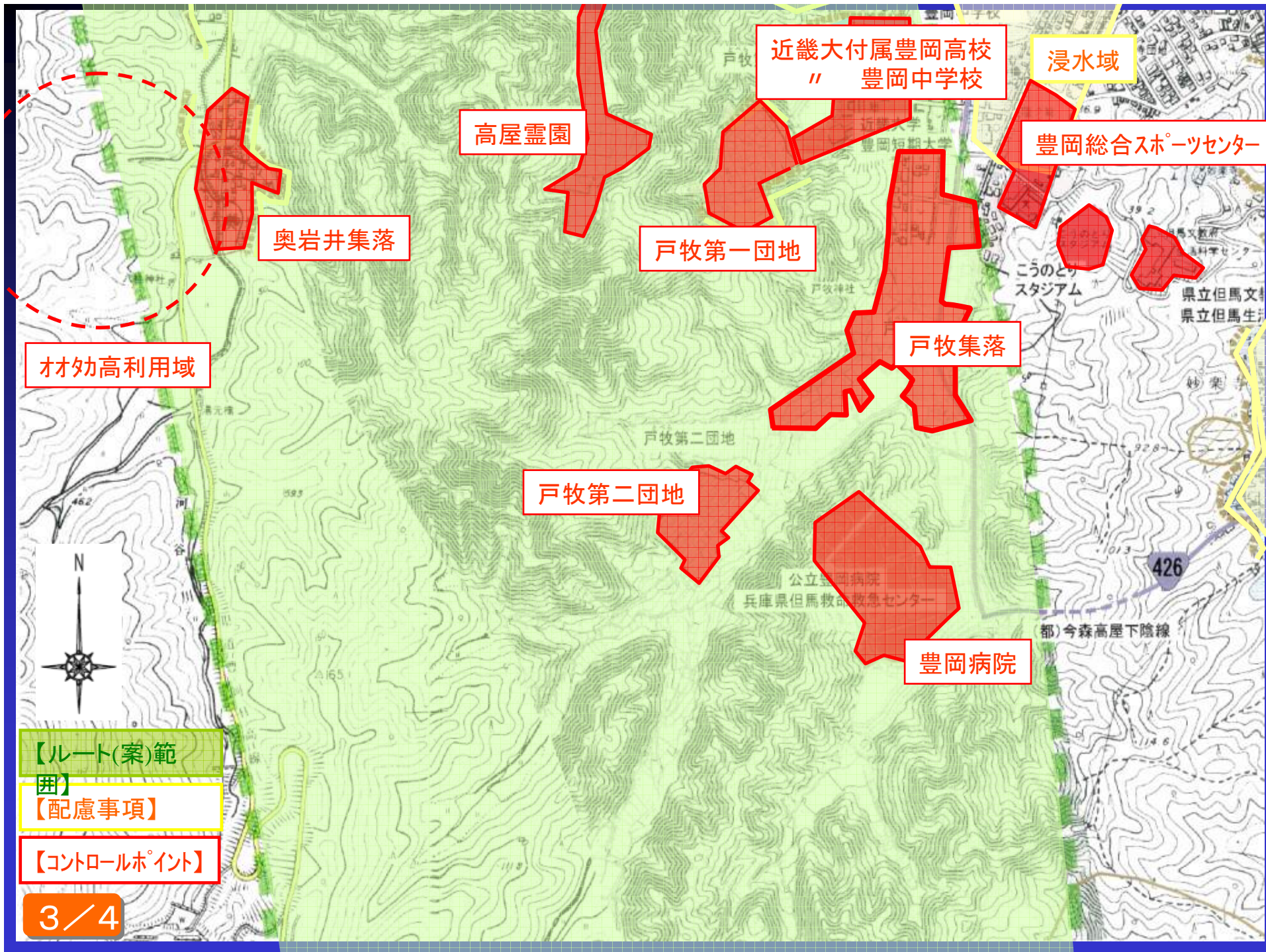




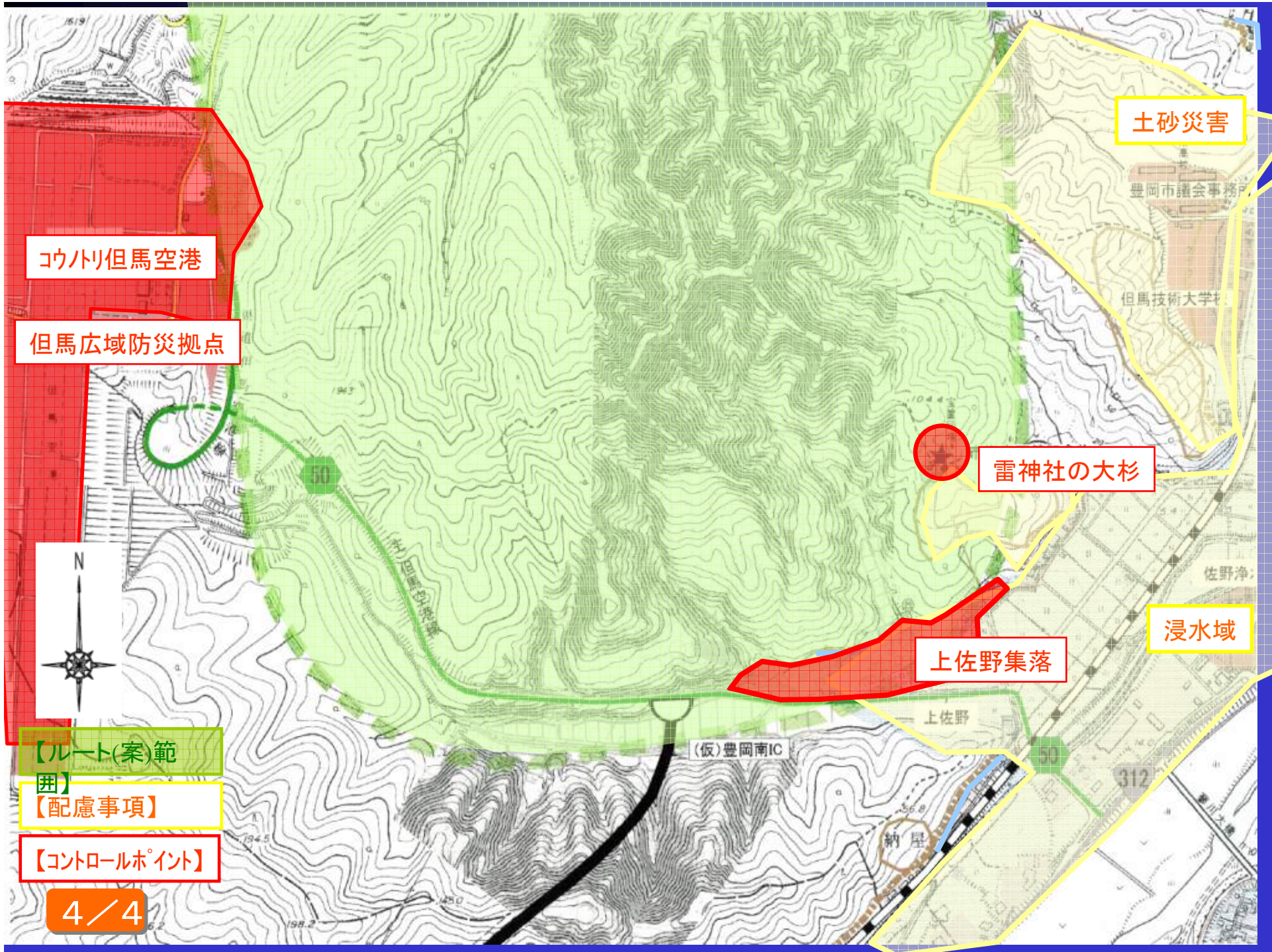












コウトリ但馬空港

但馬広域防災拠点

土砂災害

雷神社の大杉

上佐野集落

浸水域

【ルート(案)範囲】

【配慮事項】

【コントロールポイント】

# コントロールポイントと配慮事項の配慮の度合

- コントロールポイント
- 配慮事項

項目	配慮の度合			
	必ず回避	極力回避・配慮	配慮する	配慮不要
自然	● コウトリ巣塔 ● ビオトープ ● オオカ	● コウトリえさ場 ● 景観		
社会環境	● 学校 ● 病院 ● 住宅密集地	● 観光資源とのネットワーク ● 緊急医療とのネットワーク		
史跡等	● 雅成親王陵 ● 高屋霊園			
公共施設等	● コウトリ但馬空港 ● 清掃センター ● 浄化センター ● 中央卸売市場 ● 最終処分場			
防災		● 浸水区域		● 地滑り



## アンケート調査と第1回懇談会での意見による コントロールポイントと配慮事項の整理(案)

項目	意見	対 応		
		コントロールポイント	配慮事項	
			ルート検討上の配慮事項	技術的検討課題
自然	貴重な動植物との共存	○ (コウノトリ巣塔、飛来地(えさ場))	○ (えさ場(将来))	
	自然・景観への配慮		○	○
社会環境	救急医療とのネットワーク	○ (病院)	○ (アクセス)	
	観光資源とのネットワーク		○	○
	住宅地を避け、水田や山林を通る。	○		
	ICや現道へのアクセス性		○	○
史跡等	神社、仏閣、霊園、遺跡 等	○ (霊園)	○ (墓地)	
公共施設等	-	-	-	-
防災関連	災害時の走行性	○ (浸水区域(高さ)、大規模地すべり)	○ (浸水区域、地すべり)	○ (浸水区域、地すべり)
	冬場の走行性			○
その他	軟弱地盤の水田地帯			○
	安全走行性		○	○

※ 技術的検討課題については今後の検討事項

# 3. インターチェンジの必要性 について

## インターチェンジ設置の考え方

- 一般的なインターチェンジの設置は以下の考え方に基づいて計画されている。

インターチェンジの配置計画にあたっては、「地域計画及び広域的な交通運用計画との関連のもとに、社会的、経済的効果などを考慮して最も適切な位置を選定する」とされている。

### 設置の基本的な考え方

主要道路との交差点

地域内人口がおおむね50,000人以上

重要な港湾、飛行場、流通施設または国際観光上重要な地に通ずる主要道路との交差または近接地点

インターチェンジ間隔が最小1.5～4km、最大20～30km

インターチェンジ利用交通量からみて経済的に適当か

必要に応じて1つのインターチェンジの機能を2箇所分散

域内交通が多い場合や沿線及び周辺在市街化が進んでいる場合はさらに細かい間隔でインターチェンジを検討

地形に適合する形をえらび、交通の安全と円滑が得られるよう配慮

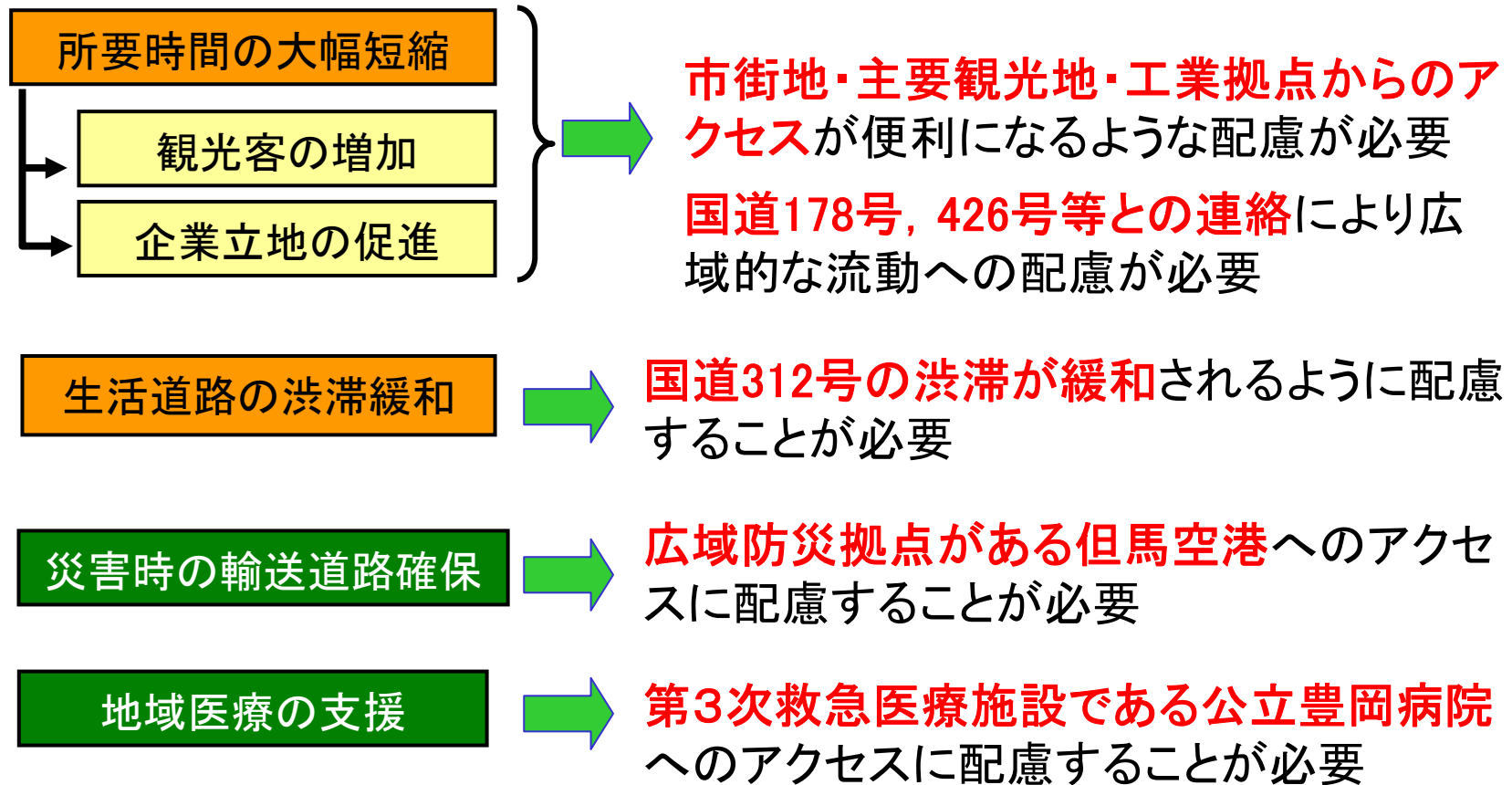
土地利用の現況と将来の変化等を検討し、できるかぎり生活環境上の保全上問題が生じない位置



## 豊岡道路のインターチェンジ設置の考え方

・豊岡道路に求められる以下の機能が発揮できるよう、効果的なインターチェンジの設置が必要

豊岡道路に求められる機能(抜粋) → インターチェンジ設置の考え方



# インターチェンジの必要性

広域流動

広域流動

観光地へのアクセス

市街地へのアクセス

コウノリの郷公園

救急医療への対応, 市街地へのアクセス性を考慮すると, インターチェンジの設置が望ましい

豊岡市役所

市街地へのアクセス

国道312号の混雑箇所を避けられるため, 豊岡市内の渋滞緩和につながる

公立豊岡病院

救急医療施設アクセス

但馬広域防災拠点

かばん団地

コウノリ但馬空港

中核工業団地

広域防災拠点

産業拠点アクセス

都市計画決定済

